

## JGOG1075S: 本邦における外陰癌の実態及び治療に関する 調査研究

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

### 【本調査の目的】

本邦における外陰癌についての調査研究を行い、患者背景及び治療方法の現状を把握し、今後外陰癌に対して前向き臨床試験を計画する際の有用な情報とする。

### 【対象】

2001年1月から2010年12月までの10年間に外陰癌の診断で治療を行っている症例で、初回より緩和医療となった症例も含む。

目標調査症例数：1000例

### 【調査項目】

患者背景因子：年齢、妊娠分娩歴、進行期(FIGO2008)、HPVハイリスク検査、HPVタイピング検査、組織型、腫瘍径、初回治療、治療開始日、治療終了日、再発の有無、再発確認日、再発治療、生存の有無、最終生存確認日

手術療法：外陰部：広汎外陰全摘術、根治的外陰部分切除術、センチネルリンパ節切除術  
鼠径部：片側、両側浅部鼠径リンパ節郭清術、浅・深鼠径リンパ節郭清術、en bloc方式、separate incision方式

再建術：部分植皮、皮弁、筋皮弁

合併症：創部離解、浮腫、感染性リンパ管炎、血栓症、尿路感染症の発生頻度およびGrade評価

放射線療法：術前、初回及び術後放射線療法：放射線単独(照射野、照射方法(根治照射、緩和照射)、Linac、電子線、総線量、治療期間、完遂率)

術前、初回及び術後同時化学放射線療法(照射野、照射方法、Linac、電子線、総線量、治療期間 レジメン コース数、完遂率)、有害事象(含む晩期毒性)

化学療法：術前、初回及び術後化学療法：レジメン、コース数、有害事象

### 【調査期間】

2014年8月1日から2015年3月31日

### 【研究機関・組織】

特定非営利活動法人 婦人科悪性腫瘍研究機構 (JGOG) 子宮頸がん委員会

### 【代表者連絡先】

久留米大学医学部産科婦人科学教室／西尾 真